

## パソコン教室の窓から (18)

NPO 法人コミュニティ NET ひたち(Cnet) 久保 裕

## パソコンのスタイル設定

人にはそれぞれ個性がありスタイルがある。自分の個性やスタイルをよく承知していて他人との付き合い方を考えている人は賢明な人だ。「私はこういう人だから」、「あの人は自分を理解してくれる人ではないから」、とって他人の考え方や意見を受け入れない人、他人の話をよく聞かない人がけっこう多い。逆にパソコンやスマホをよく使う人はインターネット検索で調べれば何でもわかると、そのニュースや情報の裏も確認しないで、真実だと思い込んでダマされる人がある。世の中の習慣を受け入れ、他人の個性を尊重できない、意固地で自己中心的な人間になる。他人の意見は受け入れない、自己のカラに閉じこもった人間になってしまう。

融通無碍にある時間と空間を、自分一人のものだと考えている人がある。他人とももの事を共有できない人がある。生まれたばかりの子どもはこの融通無碍な時間と空間を持っている。日本でも20歳代までの若者が大いにそこで羽ばたいている。最近のスポーツ選手や囲碁将棋などゲームの世界でも常にランキング上位で活躍している。年齢とともにこの時間と空間が少なくなり狭くなる。近くのコミセンにでも出かけて、いろいろな個性を持った人たちと談笑するのもいい。

さて、人間のことはこのぐらいいにして、パソコンという道具の使い方について、今回は「パソコンのスタイル設定」ということについて少々解説したい。パソコンの使い方は人により千差万別とっていいほど、その使い方には人により個性があるものだ。パソコン教室の講師や受講生を見ているとよく分かる。パソコン自体もそれぞれの個性を付与されることを求めている。

Word のページを開くとリボンと呼ばれる基本的なメニューが表示される。そこには、「スタイル」という文章作成の基本メニューがある。

Excel のページを開くと、同様にそこには、「スタイル」という表作成の基本メニューがある。

Word の<デザイン>タブを開くと、「テーマ」「配色」「フォント」、

Excel の<ページレイアウト>タブを開くと「テーマ」のメニューが表れる。ここには、Word と同様に「テーマ」「配色」「フォント」さらに「効果」というようなメニューが用意されている。

一つの教室で大勢の受講生が各々自分のパソコンを持参して受講する場合は、このスタイルのテーマや配色などを講師のパソコンと合わせることで、講師のパソコンと受講生のパソコンの個性を一致させることができることになる。これはパソコンの入門編や基礎編の講座修了後の応用編で習得したい機能である。



左端にある Excel のテーマ・メニュー